

山行報告



行き先 苗場山

型式 ハイキング

日程 平成 30 年 10 月 14 日

千葉駅北口 5:00 出発→苗場プリンスホテル 8:10 到着

ドラゴンドラ 8:45→パノラマリフト 9:15→登山開始 9:20

神楽ヶ峰 11:30→苗場山頂 12:20→神楽ヶ峰 13:10→パノラマリフト 14:20

ドラゴンドラ 14:40→駐車場 15:25

参加者 CL 池田、八角、神崎

データ 距離 12.3km、累計標高差 1095m

今回の山行は、苗場で月曜日に仕事があるため、ついでで苗場山に登ってしまおうと思ったのがきっかけです。さらに都合の良いことに、紅葉のシーズンになってたので、日本最長のゴンドラ「ドラゴンドラ (ユーミン命名)」で紅葉も楽しみ楽々お気楽ハイキングと考えた次第です。

色々プランを練っていると、ドラゴンドラの営業時間 9:00~16:00 までにたどり着かないと帰って来られなくということがわかった。ネットで参考にした人も営業時間ギリギリにリフトに到着したようなことが書かれていて、不安になってくるが、時間管理さえやっておけば大丈夫だろうと考え実行することにした。

交通機関は、八角さん、神崎さんは千葉駅前の駐車場に車を止めて貰い、池田車で出発した。一週間ぶりの苗場プリンスホテルに 8:10 に到着すると早くもドラゴンドラの切符を求める一般人が並んでいる。並んでいる間に、八角さんが買ったばかりの iPhone で GPS 講座を開始。最初は自分の居場所がわかるだけでも OK。その後、シャトルバスに乗ってドラゴンドラへ向かった。



ドラゴンドラの係のおじさんに、苗場山頂まで日帰りで行くの？時間厳しいよと言われ少々弱気になるが、いまさらしょうが無い。3人で1つのゴンドラ(定員8名)に乗り出発したが、これが最高に良かった。ディズニーランドのアトラクションより楽しい。往復 2400 円の価値は十分あったと思える行程である。千畳敷のロープウェイも良かったが、さすが日本一の長さで貸し切り状態でゆっくり見られることを考慮するとこちらの方が良いと思える。

ドラゴンドラを下りると登山道になるが、今回は時間が気になったので、パノラマリフトにさらに乗ることにした。

スキー場のゲレンデ一面を登ると登山道に入るが、落葉がクッションとなり、ふかふかの絨毯を歩いているようだった。八角さんがやや足に不安があるとのことで、ペースはゆっくりめで登る。道中は神楽ヶ峰まではお気楽ハイキングコースである。途中で振り返ると3ヶ月前に走破した谷川岳、万太郎山、仙ノ倉山、平標山が見える。あのときは、遙か彼方に見えた苗場山を見てあまりの遠さに見なければ良かったと思ったが、今日は良い眺めである。神楽ヶ峰まで来ると苗場山頂が見えたが、大きく下り、その後急登の道が見えた、時間も押してきたので、八角さんはここからゆっくりリフト乗り場まで引き返してもらうことにした。

2人になったので、今までの倍のペースでひたすら進むが、ここから今までとは全く別の山のような道となる。近所の谷川岳のような感じと思って貰えば良いが、鎖場こそないものの、帰りの時間を気にしてひたすら進む。上から来た人がもうちょっとですよと言われた直後に山頂の大平原に到着した。あいにくの曇り空であるが、池塘が広がり、ここが山頂なのかと思う光景である。

本当は付近を散歩したかったが、おにぎりを1個食べてすぐに出発した。下りも気合いを入れて道中を急ぐ。リフト乗り場は15:30がタイムリミットであるが気合いを入れすぎて14:20に到着した。こんなことなら山頂でゆっくりすれば良いと後悔したが、間に合ったのでよしとするしかない。リフト乗り場では八角さんが待っていて、3人で空中散歩の帰り道をゆっくりと帰った。

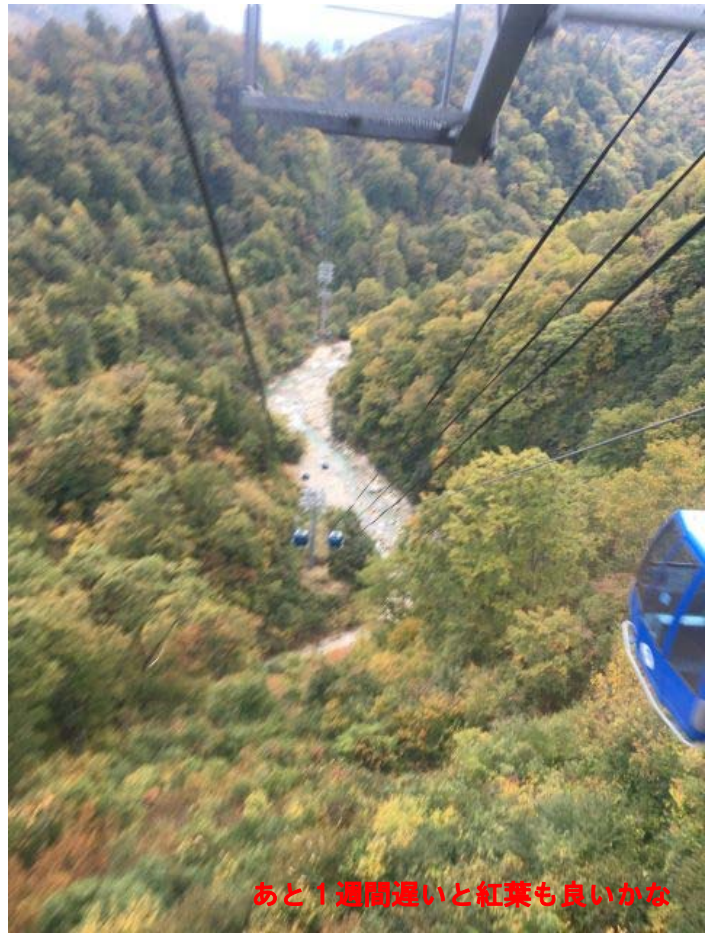
池田は湯沢の宿に温泉が付いているので、八角さんと神崎さんを越後湯沢駅前の温泉にお連れしてお別れし、お二人は17:30の新幹線で帰葉していただきました。

今回は時間配分がわからなかったのが急いでしたが、ドラゴンドラはなかなかの体験を出来るので、苗場山とセットでオススメです。ただしペースに不安がある方は、山頂で一泊するととても良い山行になると思います。





スリル満点



あと1週間遅いと紅葉も良いかな



鳥になった気分で空中散歩